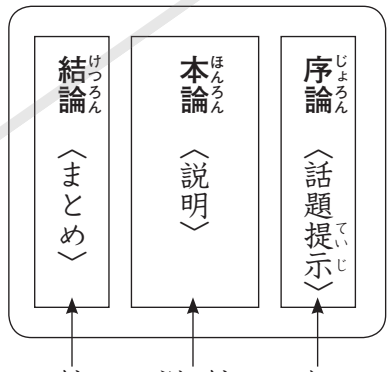
第2回 説明文・論説文　文章の流れ
――五十音図・国語辞典の使い方／かなづかい・送りがな

ねらい
- 文章の流れをとらえ、話題をつかむ。
- 指示語・接続語の働きと、その性質をとらえる。
- 国語辞典の使い方とかなづかい・送りがなのルールを覚える。

学習の要点

1 文章の流れ

説明文・論説文の多くは次のような流れになっています。



2 文章の流れのとらえ方

① 話題をつかむ

話題をつかむ
- 文章の題名
- 「問いかけ」表現
- くり返し使われている言葉

「～でしょうか」「～だろうか」 キーワード。
話題の中心だから、何度も使われる。

② 文章のすじ道をつかむ…文と文のつながりや関係をおさえる。

指示語……主に前に出てきた内容を指す。
→指す内容は、指示語に置きかえて読むことができる。

接続語……前の文と後の文の関係を表す。

逆接の接続語　逆接の後は、重要な内容が多い。

・A君はBと考えている。しかし、ぼくはCと考えている。

例題

★ 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

Sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（注）鼻白む…いやな気持ちになる。

□**問一**　この文章の話題を「～について」に続くように文章中から五字で書きぬいて答えなさい。

［　　］について

□**問二**　――線「そんな顔」が指す言葉を、文章中から二つ、それぞれ十一字で書きぬいて答えなさい。

・［　　］
・［　　］

□**問三**　［Ⅰ］・［2］にあてはまる接続語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。

ア　つまり　　イ　ところが　　ウ　だから
エ　また　　オ　たとえば

Ⅰ［　　］　2［　　］

□**問四**　この文章の内容として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。［　　］

ア　イタリアでは、「道聞かれ顔」という言葉はだれでも知っている。
イ　日本でもイタリアでも、都会では、道を聞いてもほとんどの人が「知りません」と答える。
ウ　日本とちがい、イタリアの街には、道に迷っても「教えてあげよう」という顔があふれている。
エ　イタリアのヴィテルボの人はのんびりしているが、ローマの人は忙しそうにしている。

説明の接続語　――前の文の内容を言いかえている。
・ぼくはCを選んだ。［つまり］、Cが最も重要だということだ。

考え方

問一　問いかけの文は見あたりませんが、最初の一文目で提示された「道聞かれ顔」という言葉が、その後もくり返されています。

問二　指示語の内容はすぐ前からさがします。指示語の内容を確認（かくにん）しながら、文章の流れをとらえましょう。

「道聞かれ顔」ということばがあるそうだ。
←
日本の都会には道聞かれ顔は非常に少ない。
↓無関心な顔・忙しげな顔ばかり
←　自分も「そんな顔」をしているにちがいない。
イタリアの街には道聞かれ顔があふれている。
↓ヴィテルボ・ローマでの筆者の体験

問三　前の段落（だんらく）の内容と接続語の後に続く内容が、どのような関係かを考えましょう。

・日本の都会には道聞かれ顔は非常に少ない。
［Ⅰ］――イタリアの街には道聞かれ顔があふれている。
　前の内容と後の内容が対立するときの接続語
・ヴィテルボの道聞かれ顔の三人組がすぐに教えてくれた。
［2］――ローマでもテキパキと教えてくれた。
　同じような例を対等に並（なら）べるときの接続語

問四　文章の流れをとらえていねいに読み取ることができたかを問う問題です。この文章は、道を聞いたときの反応（はんのう）について、日本とイタリアを比較（ひかく）して説明しています。

Sample

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（岩井克人「おカネとコトバと人間社会」より）

（注）ニューロン…いたみなどの刺激を脳などに伝達する神経の細胞。
アインシュタイン…ドイツ生まれの物理学者。
レオナルド・ダ・ヴィンチ…イタリアの芸術家、科学者。

□**定番問題**　［Ⅰ］・［2］にあてはまる接続語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。（接続語）

ア　つまり　　**イ**　だから　　**ウ**　それとも
エ　ところで　　**オ**　ところが

Ⅰ［　　］　2［　　］

□**問一**　この文章の話題を「～について」に続くように、文章中から七字で書きぬいて答えなさい。（話題）

［　　］について

□**問二**　――線①「それ」が指す言葉を、文章中から五字で書きぬいて答えなさい。（指示語）

［　　］

□**問三**　――線②「生物学や生命科学でもきちんと説明することはできません」とありますが、それはなぜですか。次の文の［　　］にあてはまる言葉を、文章中から十七字で書きぬいて答えなさい。

どのようなものが価値を持つおカネになるかの情報は、［　　］。

［　　］

□**問四**　――線③「それ」が指すのは、何ですか。文章中の言葉を使って、二十字以内で答えなさい。（指示語）

［　　］

□**問五**　この文章の内容として合うものを次の中から選び、記号で答えなさい。（文章の流れ）

ア　おカネやコトバは、物理的に大きな意味を持っているので、人の心を動かすものである。
イ　おカネやコトバは、生物学や生命科学では説明できないが、物理学では説明できるものである。
ウ　おカネやコトバは、右脳と左脳がバランスよく使われてはじめて働くものである。
エ　おカネやコトバは、遺伝子に関係なく、人から人へと受け渡されていくものである。

［　　］

Sample

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（河合隼雄「おはなしの知恵」より）

（注）ロマン主義…十八世紀末から十九世紀にかけての精神運動。この時代に「ロマンス（恋愛小説）」という言葉が生まれた。
富国強兵…国を豊かにし、兵力を強めること。
国定国語教科書…国が編集・発行した教科書。現在は「検定済教科書」を使用している。
比肩…同等であること。
軍閥…軍事力を背景に政治的権力をもった勢力。

□問一　――線①「日本人は老人が好き」とありますが、どのような事実から筆者はそうのべているのですか。文章中の言葉を使って、二十字以内で答えなさい。（話題）

□問二　＊　にあてはまる言葉として最もふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　知らせ　　**イ**　幸運
ウ　おくり物　　**エ**　不幸

□問三　［1］・［2］にあてはまる接続語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。（接続語）

ア　しかし　　**イ**　そして　　**ウ**　ところで
エ　つまり　　**オ**　それとも

［1］　［2］

□問四　――線②「それ」が指すのはどんなことですか。文章中の言葉を使って、二十五字以内で答えなさい。（指示語）

□問五　――線③「日本が～桃太郎はにわかに注目されることになった」とありますが、桃太郎のどんな点が時代に受け入れられたのですか。次の中から選び、記号で答えなさい。（文章の流れ）

ア　西洋の典型的な昔話のように、勇ましい男性の、自我の確立の過程を象徴的に表している点。
イ　西洋的な英雄像に負けない、勇ましい男性の物語であり、最後は若者の孝行の話になる点。
ウ　桃から生まれた桃太郎という、極めて特殊な人物を主人公とする、想像力あふれる物語である点。
エ　桃太郎という勇ましい若い男性を主人公としながら、老人が大いに活躍する昔話である点。

Sample

1 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（柳澤桂子「生命の不思議」より）

□問一【　】で囲んだ部分は、話題のまとまりによって大きく三つの意味段落に分けることができます。二つ目、三つ目の意味段落の初めの十字を、文章中からそれぞれ書きぬいて答えなさい。（話題）

二つ目

三つ目

□問二　I ～ III にあてはまる接続語を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。（接続語）

ア　また　　**イ**　たとえば　　**ウ**　あるいは
エ　しかし　　**オ**　そして　　**カ**　なぜなら

I　　II　　III

□問三　――線①「南極の冬の一番寒い季節」とありますが、コウテイペンギンが、このような季節に卵を産んで温めるのは、何のためだと筆者は考えていますか。文章中の言葉を使って、二十五字以内で答えなさい。（文章の流れ）

□問四　――線②「そのような」が指す内容を次の中から選び、記号で答えなさい。（指示語）

ア　雄が何も食べずに長い間卵を温めつづける
イ　雌と雄が交代で遠く離れた海まで行き雛の餌をとる
ウ　餌のある海水面から離れたところで子供を育てる
エ　一二月に雛の羽が生えそろい独立の準備ができる

□問五　――線③「過酷な生活条件」とありますが、コウテイペンギンがすむ南極という過酷な地を、筆者がほかの言葉で表現している部分をさがし、文章中から五字以内で書きぬいて答えなさい。

Sample

2 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

sample

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。
実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

（浅田秀子「日本語にはどうして敬語が多いの？」より）

（注）のりと…神を祭り、神に祈るときに唱える古い文体の文章。

□問一　［Ⅰ］～［4］にあてはまる言葉を次の中から選び、それぞれ記号で答えなさい。同じ記号は二度使えません。（接続語）

ア　また　　**イ**　ところが　　**ウ**　そして
エ　なぜなら　　**オ**　すると　　**カ**　だから

Ⅰ［　　］　2［　　］　3［　　］　4［　　］

□問二　――線①「親しい人に敬語をつかうと、なんだか他人行儀な感じがする」のは、なぜだと書かれていますか。「日本語の敬語には、～。」という形で四十字以内で答えなさい。

□問三　――線②「この子どもはどうして、自分が話しかけられているのがわからなかったのでしょうか」とありますが、その理由としてふさわしいものを次の中から選び、記号で答えなさい。

ア　初対面の外国人が自分に話しかけてくるはずがないと思ったから。
イ　声が小さいので、まさか自分に話しかけているとは思わなかったから。
ウ　外国人がまさかドイツ語で話しかけてくるはずがないと思いこんでいたから。
エ　目上の人に使うはずの「ズィー」という言葉で話しかけられたから。

［　　］

□問四　――線③「のりと」に敬語を多く使い、神様を尊敬する気持ちが伝わるように工夫したのは何のためだと書かれていますか。文章中の言葉を使って十五字以内で答えなさい。（文章の流れ）

□問五　――線④「神様をよぶのに、『ズィー』でなくて『ドゥー』をつかうというのは、いったいどういうことなのでしょうか」とありますが、筆者は、その理由をどのように考えていますか。「ドイツでは、～と考えられているから。」という形で五十字以内で答えなさい。（文章の流れ）

Sample

●五十音図

五十音図は、かなを五字ずつ十行にならべたものです。たての列を「行」といい、横の列を「段（列）」といいます。

〈清音〉五十音図とは、この「清音」の表のこと。

行＼段（列）					
あ行	あ・ア	い・イ	う・ウ	え・エ	お・オ
か行	か・カ	き・キ	く・ク	け・ケ	こ・コ
さ行	さ・サ	し・シ	す・ス	せ・セ	そ・ソ
た行	た・タ	ち・チ	つ・ツ	て・テ	と・ト
な行	な・ナ	に・ニ	ぬ・ヌ	ね・ネ	の・ノ
は行	は・ハ	ひ・ヒ	ふ・フ	へ・ヘ	ほ・ホ
ま行	ま・マ	み・ミ	む・ム	め・メ	も・モ
や行	や・ヤ		ゆ・ユ		よ・ヨ
ら行	ら・ラ	り・リ	る・ル	れ・レ	ろ・ロ
わ行	わ・ワ	(ゐ)・(ヰ)		(ゑ)・(ヱ)	を・ヲ
ん	ん・ン				

↑「ゐ・ヰ」「ゑ・ヱ」は、「い・イ」「え・エ」と同じ音。昔は使っていたが、今は使わない。

〈濁音〉

が・ガ	ぎ・ギ	ぐ・グ	げ・ゲ	ご・ゴ
ざ・ザ	じ・ジ	ず・ズ	ぜ・ゼ	ぞ・ゾ
だ・ダ	ぢ・ヂ	づ・ヅ	で・デ	ど・ド
ば・バ	び・ビ	ぶ・ブ	べ・ベ	ぼ・ボ

〈半濁音〉

ぱ・パ	ぴ・ピ	ぷ・プ	ぺ・ペ	ぽ・ポ

〈拗音〉

きゃ	きゅ	きょ	ぎゃ	ぎゅ	ぎょ
しゃ	しゅ	しょ	じゃ	じゅ	じょ
ちゃ	ちゅ	ちょ	ぢゃ	ぢゅ	ぢょ
にゃ	にゅ	にょ	びゃ	びゅ	びょ
ひゃ	ひゅ	ひょ	ぴゃ	ぴゅ	ぴょ
みゃ	みゅ	みょ			
りゃ	りゅ	りょ			

●国語辞典の使い方

国語辞典は、言葉の意味や、その言葉の使い方を調べるときに使います。国語辞典は、次の点に気をつけて引きます。

(1) **五十音順に引く。**（清音→濁音→半濁音の順にならんでいます。）

(2) **言い切りの形で引く。**（活用のある言葉の場合）

(3) **文章中でふさわしい意味を選ぶ。**（一つの言葉でいくつも意味がある場合）

●かなづかい

発音どおりに書きますが、次のような例外もあります。

(1) **「何を・何へ・何は」の「を・へ・は」は「オ・ヘ・ワ」と書きますが、「お・え・わ」とは書きません。**

例 絵をかくのが好きです。ぼくは図書館へ行きました。

(2) **「ジ・ズ」には、「ぢ・づ」と書くものがあります。**

例 ちぢむ つづる はなぢ（鼻血） みかづき（三日月）

(3) **長音（のばす音）の書き方。**

① 「アイウエ段」の長音は、「あ・い・う・え」をつけます。

例 おかあさん にいさん くうき ねえさん

② オ段の長音は「う」をつけるが、「お」をつけるときもあります。

例 おとうさん おおい（多い） こおり（氷） おおやけ（公）

●送りがな

(1) **動詞は原則として、活用する部分から送ります。**

例 食べない 食べます 食べる 食べれば 食べろ

(2) **「しい」で終わる形容詞は、「し」から送ります。**

例 美しくない 美しかろう 美しかった 美しい 美しいとき 美しければ

(3) **「か」「やか」「らか」をふくむ形容動詞は、「か」「やか」「らか」から送ります。**

例 静かだ 健やかだ 清らかだ

(4) **活用のある語から名詞になったものは、もとの語の送りがなのつけ方にしたがって送ります。**

例 初め 近く 寒さ 重み

(5) **読みまちがえやすいものには、送りがなをつけます。**

例 後ろ 幸い 幸せ 半ば 自ら

Sample

□問一　次の問いに答えなさい。

(1)　さ行の五字をひらがなで答えなさい。

(2)　さ行の拗音の三つをひらがなで答えなさい。

(3)　う段の九字をひらがなで答えなさい。

(4)　は行の濁音五字をカタカナで答えなさい。

(5)　は行の半濁音五字をカタカナで答えなさい。

□問二　次の言葉は、国語辞典で引くと、どのような順で出ていますか。例にならって（　）に番号を書きなさい。

例
ア　えとく　（3）
イ　えと　（1）
ウ　えどじだい　（4）
エ　えど　（2）
オ　えどっこ　（5）

(1)
ア　気温　（　）
イ　記おく　（　）
ウ　議会　（　）
エ　機械　（　）
オ　着がえ　（　）

(2)
ア　風化　（　）
イ　風害　（　）
ウ　風雨（ふうう）　（　）
エ　風圧（ふうあつ）　（　）
オ　風景　（　）

(3)
ア　部屋　（　）
イ　ペルー　（　）
ウ　ベランダ　（　）
エ　減る（へる）　（　）
オ　ベル　（　）

□問三　次の文の――線部の言葉を、国語辞典で調べるときの言い切りの形に直してひらがなで書きなさい。

(1)　約束の時間に間に合うように、近くの駅まで走った。

(2)　西にしずむ太陽が、とても大きく見えた。

(3)　弟は下を向いたままで、泣きながら歩いていた。

(4)　あの人はとてもおくゆかしく、わたしは好感がもてた。

(1)

(2)

(3)

(4)

□問四　次の(1)・(2)の語を国語辞典で引くと、ア～オの意味があります。それぞれ下の短文の――線部の意味として最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

(1)　早い

ア　時刻（じこく）が前である。
イ　時間がかからない。
ウ　時間がたっていない。
エ　順序（じゅんじょ）が先である。
オ　まだそのときでない。

① 普段（ふだん）より朝が早い。
② 昼食には早い。
③ 生まれが一月早い。

(2)　引く

ア　近よせる。
イ　取り出す。
ウ　長くのばす。
エ　広げる。
オ　ひきつける。

① なべに油を引く。
② 同情（どうじょう）を引く。
③ くじを引く。

(1)
①
②
③

(2)
①
②
③

Sample

□問五 次のうち、かなづかいの正しい方を選び、記号で答えなさい。

(1) ア おねいさん　イ おねえさん
(2) ア おおきい　イ おうきい
(3) ア いたずら　イ いたづら
(4) ア かなづち　イ かなずち
(5) ア じめん　イ ぢめん
(6) ア づめん　イ ずめん

□問六 次の漢字のかなづかいに注意して――線の読みがなをひらがなで書きなさい。

(1) 氷菓子　(2) 王子　(3) 身近
(4) 小包み　(5) 遠い　(6) 弟

(1) (2) (3) (4) (5) (6)

□問七 次の文中の□にあてはまるひらがな一字を答えなさい。

(1) あまりのおそろしさに、身がち□む思いがした。
(2) 父は、ね□りハチマキをして、日曜大工をした。
(3) 山道で石につま□いて転んでしまった。
(4) 旅行の日が近□くにつれ、心が落ちつかなくなってきた。

(1) (2) (3) (4)

□問八 次のうち、送りがなの正しくつけられているものを選び、記号で答えなさい。

(1) ア 明らか　イ 明か
(2) ア 導びく　イ 導く
(3) ア 唱える　イ 唱なえる
(4) ア 再たび　イ 再び
(5) ア 結すぶ　イ 結ぶ
(6) ア 新い　イ 新しい

(1) (2) (3) (4) (5) (6)

□問九 次の文の（　）にあてはまる送りがなを答えなさい。

(1) 約束を果（　）。
(2) 災害（さいがい）に備（　）。
(3) 全（　）知らない事実。
(4) 新しく覚（　）。
(5) 安（　）にねむる。
(6) 冷（　）ジュースを飲む。
(7) 管理を任（　）。
(8) 起伏（きふく）に富（　）。

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)

(7) ア 敗ぶれる　イ 敗れる　ウ 敗る
(8) ア 養しなう　イ 養なう　ウ 養う
(9) ア 表われる　イ 表れる　ウ 表る

(1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) (9)

□問十 例にならって、漢字の二とおりの読みがなとその送りがなを答えなさい。

例 重 ┌体重が〔おも〕い。
　　 └紙を何枚（なんまい）も〔かさ〕ねる。

(1) 覚 ┌目が（　）。
　　 └漢字を（　）。
(2) 細 ┌（　）ひも。
　　 └（　）砂（すな）。
(3) 苦 ┌薬が（　）。
　　 └息が（　）。
(4) 増 ┌勢い（いきお）を（　）。
　　 └人数が（　）。

Sample

実戦問題

□問一　次の言葉は、国語辞典で引くと、どのような順で出ていますか。下の例にならって（　）に番号を書きなさい。

ア　使用（　3　）
イ　情（　1　）
ウ　正体（　4　）
エ　条件（　2　）
オ　勝敗（　5　）

例
ア　えとく
イ　えと
ウ　えどじだい
エ　えど
オ　えどっこ

□問二　次の(1)・(2)の語を国語辞典で引くとア～オの意味があります。それぞれ下の短文の――線部の意味として最もふさわしいものを選び、記号で答えなさい。

ア　始める。
イ　広げた状態にする。
ウ　閉じていたのが広がる。
エ　森を切り畑などにする。
オ　間が大きくなる。

(1)　開く
①本を開く。
②会議を開く。
③差が開く。

(2)　読む
ア　文字や記号の意味を理解する。
イ　書かれた文を声に出す。
ウ　書かれた言葉を発音する。
エ　様子から予想する。
オ　様子から気持ちを見ぬく。
①票を読む。
②顔色を読む。
③目盛りを読む。

(1)　①［　　］　②［　　］　③［　　］
(2)　①［　　］　②［　　］　③［　　］

□問三　次の文章中には送りがなが誤っている漢字が五つあります。誤っている部分を書きぬき、正しく書き直しなさい。

事故の連絡を受けて直に、メンバーを率て、可能な限り短かい時間で着いた。そして作業用具を整のえ、急いで救助活動を行なった。

［　　］→［　　］
［　　］→［　　］
［　　］→［　　］
［　　］→［　　］
［　　］→［　　］

□問四　次の各文の――線部を送りがなを含めて漢字で書きなさい。

(1)　クジにハズレル。
(2)　よきにハカラエ。
(3)　コマカイ作業が多い。
(4)　まだ道ナカバだ。
(5)　それはアキラカだ。
(6)　もう一度ココロミル。
(7)　言いアラワセない。
(8)　突然アラワレル。

(1)［　　］　(2)［　　］　(3)［　　］
(4)［　　］　(5)［　　］　(6)［　　］
(7)［　　］　(8)［　　］

Sample